石巻専修大学

●「石巻専修大学」ホームページ●
https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学
広報係
〒986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

最新の情報は大学HPで。

経営・庄子ゼミ　宮城大生と交流

まちあるきイベント開催
石巻の魅力を紹介

観光やまちづくりを学ぶ経営学部の庄子真岐ゼミが10月15日、宮城大学の学生4人と石巻市内でまちあるきイベントを開催した。

このイベントは、庄子ゼミが毎年開催している東日本大震災追悼行事「竹こもれびナイト」に参加した宮城大生との交流をきっかけに企画された。「石巻のまちについて知りたい」というリクエストに応えるため、ゼミ生たちは現地調査を行うなど、入念な準備をして臨んだ。

当日は2チームに分かれ、いしのまき元気いちば、石巻市震災遺構門脇小学校、石巻南浜津波復興祈念公園、旧石巻ハリストス正教会などを案内。ゼミ生おすすめのSNS映えスポットで写真撮影を楽しむなど、終始和気あいあいとした雰囲気だった。

まちあるき終了後には、庄子ゼミの活動内容や今後の取り組みなどをスライドで紹介した。

江口標さん（経営3）は、「天候には恵まれなかったが、宮城大生と一緒に楽しく歩いた。今回の企画を通じて、自分でも知らなかった石巻の魅力的な場所を知ることができた」と語った。

石巻市震災遺構の一つ・門脇小学校を見学

終了後の振り返りで学生たちに語り掛ける庄子教授

辻准教授　環境フェアで講演

▲ 講演する辻准教授

◀ シカの全身骨格標本が展示された本学ブース

11月3日、石巻市のマルホンまきあーとテラスで開かれた「環境フェア2023」（石巻市主催）で、理工学部の辻大和准教授が講演を行った。

辻准教授は、市と連携して石巻圏の野生動物の調査・研究に取り組み、そこで得た知見を学内外に広く発信している。今回のイベントでは「私たちの暮らす町の動物について知ろう―石巻の野生動物―」と題し、環境問題に関心を持つ市民に向けて、野生動物の生態や自然との共生について話した。

集まった参加者は、牡鹿半島沖の離島・金華山でのニホンザル調査や、大学演習林での野生動物の暮らしに関する説明に熱心に耳を傾けていた。続いて行われたパネルディスカッションでは、野生動物に優しいまちづくりについて、参加者と意見を交わした。

会場には本学のブースを出展し、学生有志で製作したシカの全身骨格標本を展示した。多くの市民が足を止め、その大きさに驚きの声をあげていた。

情報電子工学科5人が受講

みやぎカーインテリジェント人材育成センター研修

理工学部情報電子工学科の学生5人が、自動車産業に興味を持つ学生を対象にした「みやぎカーインテリジェント人材育成センター研修」（宮城県自動車産業振興室主催）を受講した。

8月3日から9月1日にかけて行われ、4年次の菅原大翔さん（山形県鶴岡中央高）、3年次の木村紘大さん（茨城県太田第一高）、2年次の齋藤僚太さん（宮城県東北学院高）、中村洋太さん（宮城県塩釜高）、阿部雄呂さん（岩手県一関工業高）が参加。業界の第一線で活躍する講師陣から、共通分野（生産・開発、機能・構造、工場見学）、設計・開発分野、電子制御分野、将来技術分野について学び、その証しとして修了証書が授与された。

5人は「将来の自動車産業に向けた知識と洞察が得られ、価値ある経験ができた」「自動車はSDGsや環境にも配慮していて、時代とともに進化していると感じた」などと研修参加の手応えを語った。

修了証授与式に参加した中村さん（左）と菅原さん

人間・横江特任教授に文部科学大臣感謝状

小学校教育の振興に尽力したとして、人間学部人間教育学科の横江信一特任教授に文部科学大臣感謝状が贈られた。

宮城県南三陸教育事務所長や石巻市釜小学校長などを歴任。本学では、豊かなキャリアを生かし、教育や保育の現場で活躍できる人材の指導・育成に力を注いでいる。

10月19日に東京国際フォーラムで開かれた「全国連合小学校長会75周年記念式典」で、感謝状と小学校教育功労者表彰記念品が贈呈された。

横江特任教授は、「小学校教員を目指す本学学生のみならず、学校現場の先生方に対しても、子どもたちに情熱を持って取り組んでもらえるよう今後も積極的に支えていきたい」と話している。

「道徳」教科書の編集委員を担当

また、横江特任教授は光村図書出版発行の2024年度版小学校「道徳」教科書の編集委員を務めた。同教科書は来春から全国の小学校で使用される。

理工・宮嵜教授が学術書に寄稿

ISUヒゲカビコレクションを紹介

理工学部生物科学科の宮嵜厚教授（菌類発生生理学）らが執筆した『微生物資源の整備と利活用の戦略』が9月にNTSから刊行された。

同書は、微生物資源研究の特徴や課題、展望を総括した学術書で、宮嵜教授は「石巻専修大学の接合菌類ヒゲカビのコレクション」と題した記事を寄せている。

動物のふんなどに発生するヒゲカビについて、本学は世界最大の株数を保有。「ISU（Ishinomaki Senshu University）ヒゲカビコレクション」として教育・研究に活用している。

宮嵜教授は、「今後もヒゲカビの発生（形態形成や有性生殖）に関して、野生株と変異株を比較しながら教育・研究を進めていきたい」と述べた。

新人戦を制した硬式野球部

南東北大学野球連盟 2023年度秋季新人戦　2年ぶりに制す

硬式野球部が、10月7、8日に福島県いわきグリーンスタジアムで行われた南東北大学野球連盟の2023年度秋季新人戦で優勝を果たした。

1回戦で山形大学、準決勝で東日本国際大学を退け、決勝は福島大学と対戦。六回に先制を許すも地力を見せ、3―1で逆転勝ちを収めた。5月に開催された春季新人戦で初戦敗退した悔しさをバネに、チーム一丸となって練習に励み、2年ぶりの優勝を勝ち取った。

攻守に活躍した佐藤啓斗さん（経営2・宮城県東北生活文化大学高）は、「優勝できて自信がついた。この結果を来春のリーグ戦優勝につなげられるように頑張りたい」と力を込めた。

学生保健支援センター主催のヨガ教室（全2回）の初回が10月19日、本学で開かれた。

「ヨガに興味がある」「日ごろの運動不足を解消したい」「健康的な呼吸法を学びたい」など、さまざまな目的を持った学生たちが参加。石巻市地域おこし協力隊のメンバーで臨床心理士の米倉眞喜子さんの指導のもと、楽しみながら汗を流した＝写真。

澤田石飛来さん（経営2・秋田県大館鳳鳴高）は、「想像以上にリラックスできた。寝る前に実践したら安眠効果もあると思う」と満足そう。友人に誘われて参加した小倉茉莉さん（理工1・宮城県仙台南高）は、「良い経験になった。次回も楽しみ」と笑顔を見せた。